

# IPv6導入に起因する問題検討 SWG(IPv6 fix SWG)の活動

---

IPv6導入に起因する問題検討SWG  
2013/11/25

## ■ 活動趣旨

- 2011年4月以降、コンシューマ向けIPv6サービスが順次提供開始されると想定される。提供後、ユーザネットワークはIPv6/IPv4混在環境となり、それに伴って様々な問題の発生が想定される。本WGでは、IPv6導入後に発生すると考えられる問題を洗い出し、問題に対する解法を検討、共有することで、IPv6サービスの円滑な導入を支援することを目的とする。

## ■ 体制

- 部会長 藤崎智宏（日本電信電話株式会社）
- 部会長 新善文（アラクサラネットワークス株式会社）
- 部会長 北口善明（金沢大学）

- 活動内容
  - 情報収集（As-ISの状態の）
  - 既存のIPv6/IPv4混在環境での問題の再チェック（<http://www.v6fix.net> 等）
  - 想定されるIPv6/IPv4混在環境で発生する問題の洗い出し、（解法の検討）
  - 検討結果の公開（FAQ集等）
- 現在までの公開文書
  - IPv6導入時に注意すべき課題（2011年9月30日発行）
  - [http://www.v6pc.jp/jp/upload/pdf/2011093001\\_v6fix.pdf](http://www.v6pc.jp/jp/upload/pdf/2011093001_v6fix.pdf)

- 「IPv6導入時に注意すべき課題(2011年9月30日発行)」発行後, しばらく活動を休止
- 2013年8月7日に活動を再開
  - コンシューマ向けIPv6サービスが開始され, IPv6ユーザが増え始めたところで, 課題の調査, 広報の必要性を再検討
  - 月一度のペースで打ち合わせを実施中

- 「IPv6導入時に注意すべき課題(2011年9月30日発行)」の改版検討
  - 文書内各課題の再検討
  - 新規課題の検討
- 公開サーバにおけるIPv6対応状況調査
  - IPv6への中途半端な対応, 理解不足等によるサービス不全への対応
    - 「IPv6環境からアクセスできない・アクセスに時間がかかる」サービスが多いと, IPv6導入推進に影響がある.

- 以下の課題を新規追加・改版検討中
  - DNS関連の課題
  - 新しいglibcに起因する課題
  - ULAのリークに関する課題
  - IPv4アドレス生表記に関する課題
  - SMTPに関連する課題
  - 機器の挙動(IPv6の優先に関して) 等

- Web, mail, DNS サーバにて, 不完全なIPv6対応状況が観測されている.
  - IPv6アドレス宛のサービスに反応しない
  - デュアルスタック環境での接続に時間がかかる
- 状況の観測方法, 原因の推定等を実施中
  - ドキュメント化し, 公開予定

- 新規課題，サーバ状況のいくつかは，IW2013の

11/27(水)

- 「T3:IPv6 トラブルシューティング 2013」

でも解説します。

- 本SWGに対するご意見, ドキュメントに関するコメント等ございましたら,
  - <https://www.v6pc.jp/jp/wg/coexistenceWG/comment2.phtml>

よりご連絡下さい.